

科目名	慢性看護学 I 特論 Advanced Lecture on Chronic Care Nursing I
授業形態	講義
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	春BC学期 水曜5・6時限
実施場所	共同利用棟B204
単位数	2単位
担当教員名	柴山大賀 Shibayama Taiga 日高紀久江 Hidaka Kikue 阿部吉樹 Abe Yoshiki
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、下記に連絡・調整したうえで訪問すること taiga@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1) 慢性病患者とその家族の特徴を明確にし、看護の役割について説明できる。 (2) 慢性病患者とその家族の心理や行動を理解する諸理論について説明できる。 (3) 慢性病患者とその家族の特徴を踏まえた諸理論の応用について自らの意見をのべることができる。 (4) 講義や発表内容について、科学的、論理的な視点からの討論により、専門性の高い看護実践をおこなうための課題や方向性を提示できる。
他の授業科目との関連	慢性疾患看護専門看護師養成課程のすべての科目
履修条件	なし
授業概要	慢性病患者や家族が抱える慢性病特有の複雑で解決困難な問題とその背景および、そのような状況におかれる人々の行動理解に役立つ諸理論を学ぶ。
キーワード	慢性病、看護理論、健康行動理論
授業計画	(5月29日) 慢性病患者の特徴と看護の役割(1): 病いの慢性性と生活者、および、病いが日常生活におよぼす影響(柴山・日高・阿部) (6月05日) 慢性病患者の特徴と看護の役割(2): 病いをもつ人が抱える心理・社会的問題、病いをもつ人の家族が抱える心理・社会的問題(柴山・日高・阿部) (6月12日) 病みの軌跡(1): 軌跡の局面移行、軌跡の予想(柴山・日高・阿部) (6月19日) 病みの軌跡(2): 軌跡の管理、病みの軌跡に基づく看護(柴山・日高・阿部) (6月26日) 慢性病患者の疾病の受け入れ過程(柴山・日高・阿部) (7月03日) ソーシャルサポート理論の慢性病患者への応用(柴山・日高・阿部) (7月10日) ストレス・コーピング理論の慢性病患者への応用(柴山・日高・阿部) (7月17日) 看護理論の慢性病患者への応用(柴山・日高・阿部) (7月24日) 健康行動理論の慢性病患者への応用(1)(柴山・日高・阿部) (7月31日) 健康行動理論の慢性病患者への応用(2)(柴山・日高・阿部)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	事前に与えられた課題を準備してくること。
成績評価方法	5分の4以上の出席を単位取得の要件とし、最終評価が満点の60%以上をもって単位を認定する。  <評価方法と評価配分> プレゼンテーションに基づく口頭試問 100%  <評価基準> 各回のプレゼン内容を以下の要領で3点満点で評価し、10回分の合算(30点満点)に基づいて最終評価とする。 3=十分な根拠資料に基づいた説明がなされ、論理的な一貫性と十分な説得力がある。 2=一定の根拠資料に基づいた説明がなされ、一定の説得力がある。 1=根拠資料の提示に不足があり説得力を欠いているが、理解可能である。 0=説得力がなく理解不能な内容である。あるいは欠席した場合。
教材・参考文献・配布資料等	必要時、担当教員から提示する。
その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	遅刻、途中退出、やむを得ず欠席する場合の扱いについては、受講生の状況を鑑みて決定する。